

神の豊かな御祝福のうちに、クリスマスと新春をお迎えになりますよう祈らせていただきます。主のため、隣人のため、神の愛と真理を宣べ伝える慕い御奉仕の上に、神よりのねぎらいがありますと共に、御一同の上に豊かな健康と幸福のたまものがありますようお祈りしております。私たち夫婦と三男行人（デール）が日本に七月末参りましてから、最近荷物もつき、やつと落着いた感じになりました。長男の正人（ダイエル）夫婦、長女直美（リンド）と二男義人（リチャード）は、それぞれロマリンダ大学に在学中で米国に残して参りました。神の御加護により家族一同健康にめぐまれ深く感謝しております。

日本の働きの事情を一日も早く知るため、北海道、本州、九州、沖縄を訪れ、多くの働き人や信徒の方々とお話しする機会を得ました。また十一月初旬には約二週間、シンガポールで極東支部の年末総会があり、途中、香港、マニラの病院と学校などの施設を見学、指導者の方々と情報や意見の交換もできました。

日本、韓国より台湾、香港、ベトナム、タイ、マレー、シンガポール、フィリピン、インドネシア、グアムなどに至る広大な西太平洋の伝道地である極東支部の働きは、神の祝福のうちに信徒二十五万をこえ、フィリピンでは、人口一七一人に一人が信徒であるところまで宣教が進んでいます。それに比して日本では、まだ一万三千人に一人という比率であり、教会が奮起し、聖霊の力に満たされて福音を宣伝しなくてはならないことを強く感じています。神は数わずかの信徒の中に、充分の能力ある働き人と信徒指導者を与えられており、ただ私たちが神の力を受け、心一つにして計画し、働きを進めるとき、必ず大きな前進を見ることができると信じております。ただ今、三育学院の移転と新築の計画と共に、日本全体の教育機構の再検討、東京都内の原宿における都会伝道機関の企画、神戸病院の募金運動と建築など、大きな案件をとり上げていくつかあり、その一つ一つが幾億円という資金を要することであり、神の導きを祈り求めつつ、慎重な相談と計画をもつてあたる決心しております。皆様方の御加禱をお願い申し上げます。

日本は物資に恵まれて、人の心が神に向けられないといわれますが、神の愛と救いは一方ますます必要であり、教会が聖霊の力によつて働くとき、必ず多くの魂がこたえることを信じます。皆様方の上に神のお守りとお導きが常にありますよう祈らせていただくと共に、たえず日本の一億の魂に対する伝道をお憶え下さいますよう心よりお願い申し上げます。

一九七二年一二月

*Mrs. & Mr. Sakeda*

国 平 四 郎

さつき

S. Kunihira

[REDACTED]  
Yokohama 241  
Japan



1972

Mr. + Mrs. S. Takeda

[REDACTED]  
Milpitas, California 95035  
U. S. A.